

SBAC-T40 向け SxS Device Driver Ver 5.2.0 Mac 版（2024/12/23 リリース）の【動作環境】を更新しました。

**【Ver5.2.0 で追加された項目】**

## ・macOS 15 Sequoia 対応

macOS 15 の仕様変更に伴い、SxS Device Driver.app の UI を変更しました。

[macOS 26.2 Tahoe](#) で動作することを確認しました。

**【動作環境】**

この SxS Device Driver Ver. 5.2.0 は下記の環境で動作確認済です。

## 対応 OS

macOS Sonoma 14.8.3 ※

macOS Sequoia 15.7.3 ※

macOS Tahoe 26.2 ※

※ Intel Mac 製品および、Apple シリコン搭載 Mac 製品に対応しています。

(Apple Silicon 搭載 Mac の場合は、「セキュリティポリシーの設定」を行なう必要がある場合があります。

詳細は、後述する「インストール方法」を参照下さい。)

## Memory

4 GB 以上

## HDD の空き容量

500 MB 以上

## ご注意：

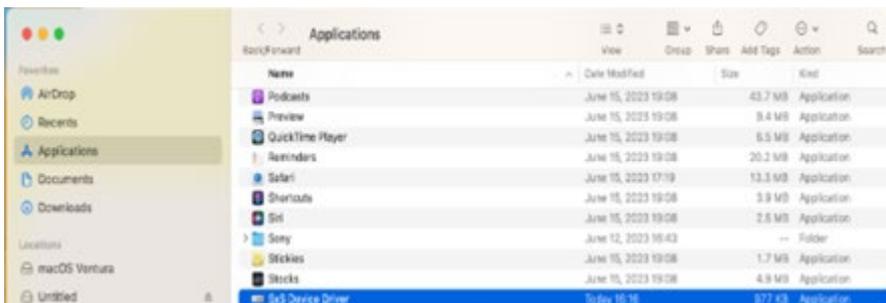
この動作環境は、すべてのコンピューターに適用されるものではありません。

**【SxS Device Driver のインストール方法】**

・SxS Device Driver V5.0.0 や V5.1.0 から更新する場合はインストールする前に、以下の手順に従って無効化して下さい。

1. システムを終了する
2. SBAC-T40 を mac から取り外し、mac を起動する
3. SxS Device Driver.app のアイコンをダブルクリックして起動します。

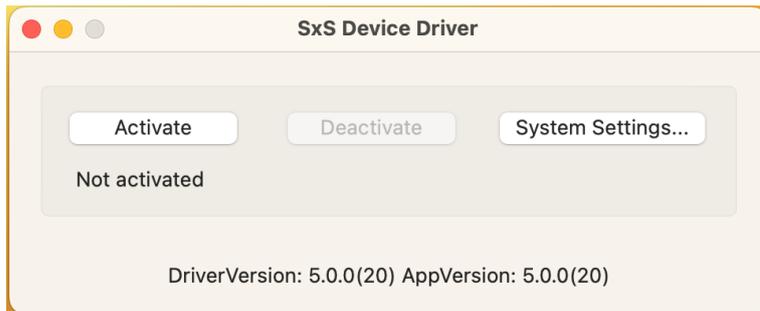
(SxS Device Driver.app は、/Applications の直下にあります)



#### 4. SxS Device Driver V5.0.0 を DeActivate します。



以下のようにになると完了です。



- SxSDeviceDriver\_5\_2\_0\_mac.zip を解凍して、SxSDeviceDriver\_5\_2\_0\_mac.dmg を実行してください。

順次表示されるインストーラーの指示に従って操作すると、SxS Device Driver.app がアプリケーションフォルダにインストールされます。

その後、SxS Device Driver.app を起動して、ドライバの有効化※を実施してください。

※macOS 15 の仕様変更に伴い、下記のように「有効化」から「インストール」に変更



また、有効化する際は、後述する、システムソフトウェアの許可を行なって下さい。

- SxS Device Driver の Activate は、稀に macOS 内の処理で 30 秒程度が掛かることがあります。

設定情報を確実に反映するため、インストール後、OS の再起動をお願いします。

## ・セキュリティポリシーの設定

Apple Silicon 搭載 Mac で Memory Media Utility V5.0.0 以降や SxS UDF Driver V5.0.0 以降と一緒にお使いになる際は、セキュリティポリシーの設定変更が必要です (SxS Device Driver V5.0.0 以降のものを単独で使用する場合は、設定変更は不要です)。なお、Apple シリコンを搭載した Mac に「Memory Media Utility」や「SxS UDF Driver」をインストールするときは、あらかじめ、バージョン 5.0.0 以降のものをインストールしてください。そして、下記の手順でセキュリティポリシーの設定を「低セキュリティ」に変更してください。

1. Apple シリコンを搭載した Mac で、アップルメニュー > [システム終了]と選択してコンピューターの電源を切ります。
2. [起動オプションを読み込み中]と表示されるまで電源ボタンを押したままにします。
3. [オプション]をクリックしてから、[続ける]をクリックします。



4. macOS 復旧でユーザ選択が求められる場合は、[次へ]をクリックし、必要に応じて、管理者アカウントのパスワードを入力します。
5. [復旧]アプリケーションで、[ユーティリティ] > [起動セキュリティユーティリティ]と選択します。
6. 使用する起動ディスクを選択します。ディスクが FileVault で暗号化されている場合は[ロックを解除]をクリックし、パスワードを入力してから[ロックを解除]をクリックします。
7. [セキュリティポリシー]をクリックします。
8. [低セキュリティ]を選択し、[確認済みの開発元から提供されたカーネル機能拡張のユーザ管理を許可]チェックボックスを選択して、レガシーのカーネル機能拡張を使用するソフトウェアのインストールを許可します。その際、必要に応じて管理者アカウントとパスワードを入力します。
9. Mac を再起動して変更内容を適用します。

・macOS 26.2 や 15.7 あるいは 14.8 にインストールする際は、システムソフトウェアの許可が必要です。

下記のように「システム設定」画面を開き、読み込み許可が要求されている場合は必ず「システムソフトウェアの読み込み」を”許可”してください。

上書きインストールの場合など、前回のインストール時にすでに許可されている場合は不要です。但し、新しく追加されている物がある場合は、それらもチェックするようにしてください。

### Sequoia の場合

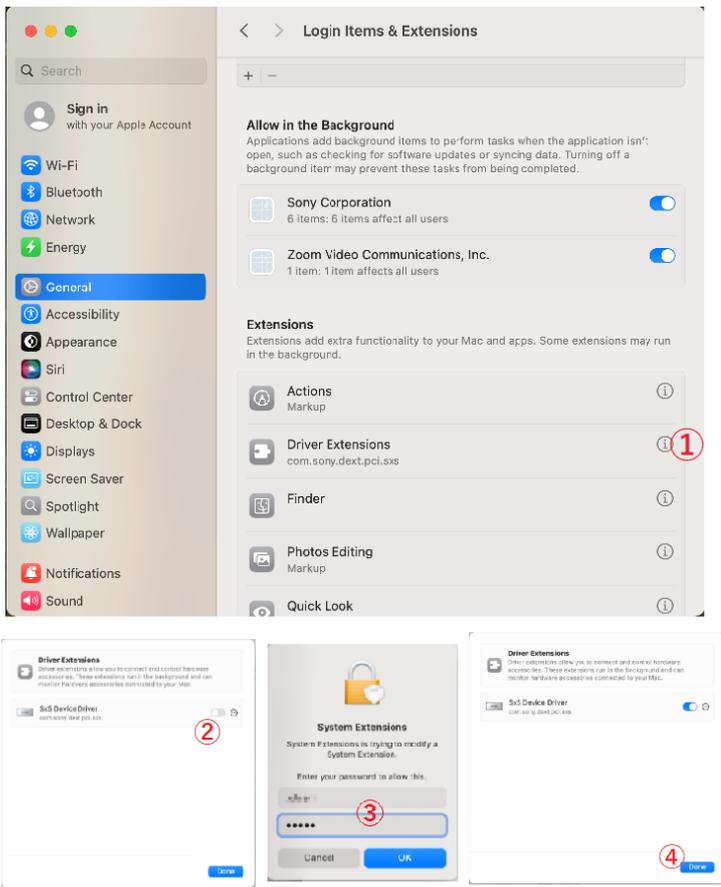
[System Settings]で[General]を開きます。

1. Driver Extension を押してください。
2. ドライバを選択します。
3. 管理者 ID とパスワードを入力下さい。
4. “Done”ボタンを押して、許可して下さい。

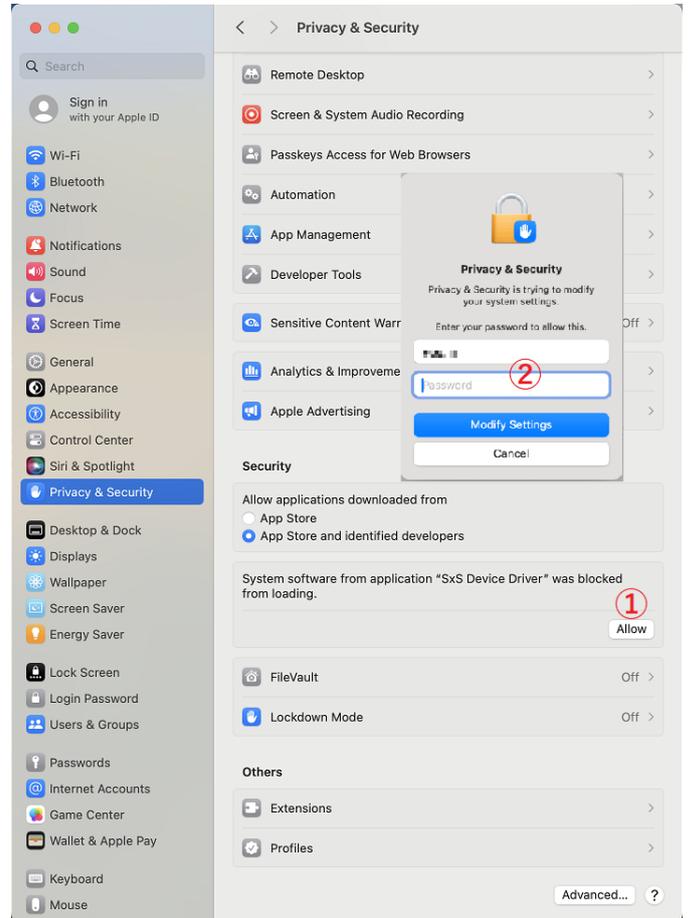
### Sonoma の場合

[System Settings]で[Privacy&Security]を開きます。

1. “ブロックされているシステムソフトウェア”の右側にある、許可ボタンを押してください。
2. 管理者 ID とパスワードを入力してください。  
(下図参照)



Sequoia の場合



Sonoma の場合

## 【使用上のご注意】

- Memory Media Utility をご使用になる場合、もしくは、UDF フォーマットされたメモリーカードを使う場合  
Memory Media Utility を使う場合や UDF フォーマットされた SxS メモリーカードに関する機能を使用する場合には、Memory Media Utility V5.3.0 や SxS UDF Driver V5.1.0 をインストールする必要があります。弊社のサイトより、インストーラーを入手して下さい。  
<https://www.sony.jp/xdcam/download/>

- OS の起動条件によっては、本製品ではなく、OS 標準 UDF ドライバが適用されてしまう場合があります。

Memory Media Utility で SBAC-T40 などの SxS Reader/Writer が認識できなくなったり、SxS メモリーのデータ転送速度が明らかに遅くなる場合があります。  
この場合は、一旦、SxS Reader/Writer を PC から外して、OS を再起動してください。

- マシン環境の設定

ドライブの正常動作の妨げになる可能性がありますので、電力モードはハイパフォーマンスをお勧めします。もしくは、一時的に自動スリープを解除した状態でご使用ください。

Mac Laptop 製品の場合、Apple メニューの システム環境設定 > バッテリーを選択し、下記項目で変更します。

- バッテリーの 低電力モード・・・ Never (なし) に設定する、もしくは、チェックを外す
- Option 内の可能な場合はハードディスクをスリープさせる・・・ Never (なし) に設定 (ディスプレイオフ時間のスライド設定がある場合、可能であれば Never (なし) に設定してください)

Mac Laptop もしくは Mac Desktop (Intel Mac) 製品の場合、Apple メニューの システム環境設定>省電力もしくはバッテリーを選択し、下記項目で変更します。

- ・ Power Nap を有効にする・・・無効にする

以下のようなストレージ管理ソフトについても、一時的に無効にするか、その管理対象から除外することを推奨します。

例) 常駐型のアンチウイルスソフト、バックアップツール、自己暗号化ドライブ管理サービス、RAID 管理ソフトウェアなど

- ・ OS が SxS メモリーをマウントする前に、SxS リーダーライター機器からメディアを取り出したり、アプリケーションで操作を行なったりすると、コンピューターが不安定になる場合があります。

- ・ SBAC-T40 に SxS メモリーカードが再マウントされない不具合の対策(macOS Ventura、Sonoma、Sequoia)

DiskUtility.app などの一部のアプリケーションで取り出し操作を行うと「取り出しに失敗しました」メッセージが表示される場合がありますが、実際には取り出しできていますので、実害はありません。

- ・ ボリュームラベルの制限について

OS によっては、ボリュームラベルの 1 文字目に半角スペースを入力することが可能ですが、この場合、Finder や Desktop で“Untitled”と表示されることがあります。

- ・ SxS メモリーカードを FAT32 でフォーマットした場合の制限について

OS によっては、FAT32 でフォーマットすると、MacOS 同梱の DiskUtility.app や Memory Media Utility のボリューム名が“NO NAME”と表示される場合があります。

---